

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-209682

(43)公開日 平成 6年(1994) 8月 2日

(51)Int.Cl.⁵

A 0 1 K 97/10

識別記号

庁内整理番号

B 9227-2B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平5-8342

(22)出願日 平成 5年(1993) 1月21日

(71)出願人 593013339

福山 成潤

佐賀県佐賀市伊勢町 8番48号

(72)発明者 福山 成潤

佐賀県佐賀市伊勢町 8番48号

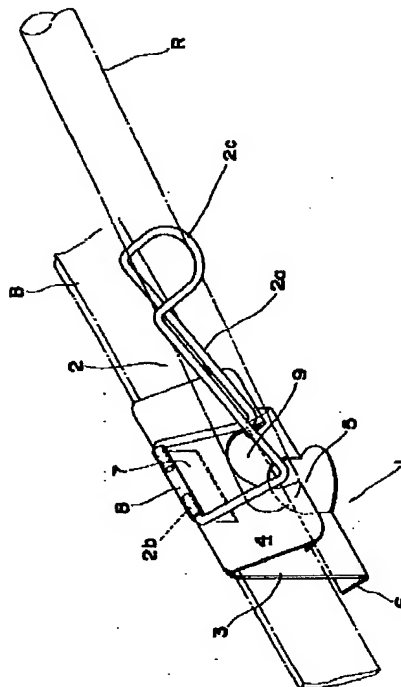
(74)代理人 弁理士 小堀 益

(54)【発明の名称】 釣り竿保持具

(57)【要約】

【目的】 比較的簡単に製造が可能であり、しかも身体への装着が容易な釣り竿保持具を得る。

【構成】 控え板 3 及びこの控え板 3 上端から下方に折り曲げ成形された前板 4 とからなるズボンのベルトに着脱可能な支持部 1 と、支持部 1 に取り付けられる竿受け 2 とを有し、前板 4 には竿受け 2 上に支持される釣り竿の基端部を挿通する釣り竿保持用の開口 9 を有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 控え板及びこの控え板上端から下方に折り曲げ成形された前板とからなるズボンのベルトに着脱可能な支持部と、同支持部に取り付けられる竿受けとを有し、前記前板には前記竿受け上に支持される釣り竿の基端部を挿通する釣り竿保持用の開口を有することを特徴とする釣り竿保持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、手を添えることなく釣り竿を身体に保持することのできる釣り竿保持具に関する。

【0002】

【従来の技術】釣りは自然に親しめるレクリエーションの一つとして人気があり、近年釣り人口も増加の一途を辿っている。

【0003】釣りにおいては、釣針に餌をつけこれを長時間水中に維持しておく必要があり、このため、従来より、手を使わずに釣り竿を保持することのできる竿保持具が考案されている。

【0004】竿保持具の最も一般的なのは、船釣の場合に使用される船用釣り竿掛けで、釣針に餌を付けて水中に投げ込んだ後、竿掛けにセットするだけで釣り竿が支持され、長時間手で竿を保持しておく必要がない。

【0005】一方、川釣り、特に溪流釣りにおいては、川の中に入り込んで釣りが行われるため、船釣りの様に釣り竿を保持するものが無く、専ら手に持った状態で行われる。したがって、釣り針に餌をつけたり、釣針から魚を取り外す際には、釣り竿を脇の下に挟み込み、両手を自由な状態にして行う必要がある。

【0006】このために、例えば実開昭61-175971号公報、実開昭61-136883号公報には、川釣りにも使用できるように、身体自体に装着することのできる釣り竿保持具が提案されている。

【0007】実開昭61-175971号公報に開示されたものは、ズボンのベルトと紐で腰と股に当てて、大腿部の側面に取り付けられる構造、また、実開昭61-136883号公報に開示されたものは、U字状の竿受けと、この後部に円筒状の竿受けとを備え、U字状の竿受けを支持するアームにラチェット機構を組み込んだ構造である。

【0008】このような構造によって、釣り竿を手で保持する必要がなく、魚の取り外し等が容易になり、また、両手が自由に使えることから安全性も向上する。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記したいずれも釣り竿保持具も、その構造自体が複雑で製造が難しく、しかも釣り竿保持具の身体への装着に手間を要する。

【0010】そこで、本発明において解決すべき課題

は、比較的簡単に製造が可能であり、しかも身体への装着が容易な釣り竿保持具を得ることにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は上記課題を解決するために、控え板及びこの控え板上端から下方に折り曲げ成形された前板とからなるズボンのベルトに着脱可能な支持部と、同支持部に取り付けられる竿受けとを有し、前記前板には前記竿受け上に支持される釣り竿の基端部を挿通する釣り竿保持用の開口を有することを特徴とする。

【0012】

【作用】本発明の釣り竿保持具においては、控え板と前板との間に、ズボンのベルトを挟み込むだけで装着が可能となり、また、保持部は一枚の銅板を折り曲げ成形して控え板と前板とを形成することができるため、製作自体が容易になる。

【0013】

【実施例】以下本発明の特徴を図面に示す実施例に基づいて具体的に説明する。

20 【0014】図1は本発明の一実施例である釣り竿保持具の斜視図、図2は同縦断面図である。

【0015】図1及び図2を参照して、1はズボンのベルトBに着脱可能に取り付けられる支持部、2はこの支持部に着脱自在に取り付けられた金属の線材からなる竿受けである。

【0016】支持部1は、一枚の金属板を折り曲げ成形したもので、裏面側の控え板3と、この控え板3上端から下方に折り曲げ成形された前面側の前板4とから形成され、控え板の下端中央部には半円形状の竿立て用開口5を形成している。6は控え板3下端を外側に折り曲げた補強片である。また、控え板3の中央上部には切欠7を設け、この切欠7部分を表側に円形状に折り曲げて、竿受け2支持用の取り付け部8を形成している。前板4の中央部下端には、竿受け2上に支持される釣り竿Rの基端部を挿通する釣り竿保持用開口9を形成している。

【0017】竿受け2は、上述したように金属の線材からなり、略平行に配置された本体部2a、この本体部2aの基端部に互いに内側に向かって形成された折り曲げ部2b、及び幅狭に形成された本体部2aの先端を連結したU字状の受け部2cとから構成されている。この竿受け2は、支持部1に取り付けた状態で、左右及び上下方向に移動可能であるため、即座に合わせるができる。また、弾性変形可能な線材で形成されているため、微妙なあたりも確実にキャッチすることができる。

【0018】上記構成において、釣り竿保持具の支持部1は、ズボンのベルトBの上部から下方を押し開くようにして取り付けることができる。そして取り付け部8には、竿受け2の折り曲げ部2bを差し込むことにより竿受け2を取り付けることができる。

50 【0019】使用の際は、図1及び図2及び使用状態を

3

表す図3に示すように、釣り竿Rを竿受け2のU字状の受け部2cに支持させ、さらに釣り竿Rの基端部を、釣り竿保持用開口9に差し込む。これによって、釣り竿Rの重みにより、釣り竿Rの基端部が持ち上がり、釣り竿Rの基端部の上面が釣り竿保持用開口9の上面に当接し、釣り竿Rが釣り竿保持具に保持されることとなる。

【0020】餌さつけあるいは魚の取り外しの場合、図2の断面図に一点鎖線で示す様に、釣り竿保持用開口9よりも下方位置に形成された竿立て用開口5に、釣り竿Rの基端部を挿通させることによって、釣り竿Rを立てた状態にすることができる。また、垂直状態に立てることも可能である。

【0021】このように、本実施例の釣り竿保持具は、一枚の金属板及び線材にて形成することができ、製造が容易で、またベルトBへの装着もワンタッチでできるものである。

【0022】

【発明の効果】本発明によって以下の効果を奏することができる。

【0023】(1) 金属板及び線材の簡単な加工によって形成することができる。

4

(2) 控え板と前板との間に、ズボンのベルトを挟み込むだけで装着が可能となり、使用勝手が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例である釣り竿保持具の斜視図である。

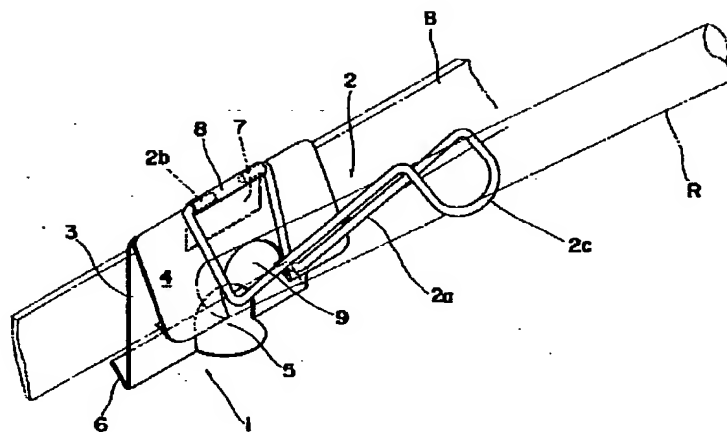
【図2】図1に示す釣り竿保持具の縦断面図である。

【図3】図1に示す釣り竿保持具の使用態様を示す図である。

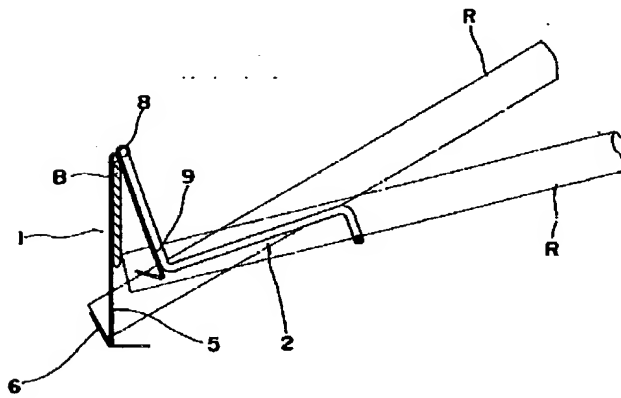
【符号の説明】

- | | |
|----|----------|
| 1 | 支持部 |
| 2 | 竿受け |
| 2a | 本体部 |
| 2b | 折り曲げ部 |
| 2c | 受け部 |
| 3 | 控え板 |
| 4 | 前板 |
| 5 | 竿立て用開口 |
| 6 | 補強片 |
| 7 | 切欠 |
| 8 | 取り付け部 |
| 9 | 釣り竿保持用開口 |

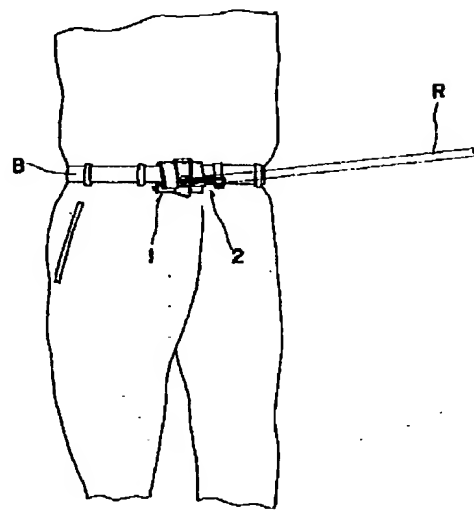
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP406209682A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06209682 A
TITLE: TOOL FOR HOLDING FISHING ROD
PUBN-DATE: August 2, 1994

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
FUKUYAMA, SEIJIYUN

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
FUKUYAMA SEIJIYUN N/A

APPL-NO: JP05008342
APPL-DATE: January 21, 1993

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a fishing rod-holding tool capable of being relatively simply produced and of being easily attached to a body.

CONSTITUTION: The fishing rod-holding tool comprises a support 1 comprising a stay plate 3 and a front plate 4 bent downward from the upper end of the stay plate 3 and capable of being attached to the belt of trousers and a fishing rod receiver 2 attached to the support 1, and forming an opening 9 in the front plate 4, the opening 9 being used for inserting the base part of the fishing rod to be supported on the fishing rod receiver 2 for the holding of the fishing rod.

COPYRIGHT: (C) 1994, JPO&Japio